

はつかいち環境講座

里に住む・森を造るということ

2026年1月31日（土）10：00～12：00
廿日市市商工保健会館交流プラザ1階多目的ホール（本町5-1）

廿日市市では、地域の身近な資源（自然資本）を持続可能な形で活用して地域の活性化を図ることを目指しています。その一環として、生物多様性の保全に取り組む企業との連携や支援を通じて、生物多様性の保全や自然資本の利活用につながる地域課題の解決を進めたいと考えています。

永本建設さんは特定建設業として「人と環境にやさしい家づくり」に携わっておられるだけでなく、地元の木を丸太ごと買い取り地域で製材して使うということによる地域材の流通促進や、薪ストーブの利用促進による再生可能エネルギーの活用に積極的に取り組んでおられます。

さらには「広島西部口ハスの会」を立ち上げ、植林イベント「廿日市漁民の森づくり」を継続的に展開し、地域の子どもたちの環境教育にも取り組んでおられます。

今回の環境講座では代表取締役の永本清三氏を講師にお迎えし、市内の企業を対象に「里に住む・森を造るということ」と題し、都市住民の「週末農家」による里地の活性化や、林業体験や地域の木材活用による里山の整備などについてお話しいただくことにしています。市内の企業にとってはまたとない貴重な機会ですので、ぜひご参加ください。



講師紹介

永本建設(株) 代表取締役 永本 清三 氏

主催：廿日市市 共催：廿日市商工会議所環境政策委員会